

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和5年度第3回愛川町社会教育委員会議		
事務局 (担当課)		教育委員会生涯学習課 内線3642		
開催日時		令和6年3月21日(木) 午後3時~午後4時55分		
開催場所		文化会館3階 特別会議室		
出席者	委員	10人 (別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	7人 (教育長ほか6人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合、その理由		/		
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 令和5年度生涯学習課事業について ◇生涯学習課事業報告 ◇生涯学習学級・講座事業報告 (2) 令和5年度スポーツ・文化振興課事業について (3) 補助事業について (4) 社会教育委員の活動について 4 閉会		

審 議 経 過

(1 / 8)

主な内容は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言、◎は講師の発言）

1. 開会

2. あいさつ

萩原議長

佐藤教育長

3. 議題

(1) 令和5年度生涯学習課事業について

<事務局から説明> 生涯学習課事業報告

生涯学習学級・講座事業報告

<質疑応答> 次のとおり

○（委員A）読書感想文コンクールは9校すべてから募集しているのか。応募数は。

●9校すべてのほか一般も応募がある。85点応募があり、審査した。

(2) 令和5年度スポーツ・文化振興課事業について

<事務局から説明> スポーツ・文化振興課事業報告について

○（委員B）愛川町は歴史が古く、いろいろな民俗学、文化財があり、古文書等も公民館講座が

あると思うが、一つ欠けているのが地質。テレビ番組でも地質を扱っている。実は、愛川にも、

藤野木-愛川構造線というのがある。伊豆半島が日本にぶつかってできたといわれているのが

丹沢。そのときに壊れたものが溜まって持ち上がったのがこの辺の山々。非常に特異なところ。

そちらに目を向けて講座等を実施していただきたい。この地形があつて、糸が盛んになり、文

化が生まれてきたことを考えると、おもしろい話が聞けるのかと思う。

審 議 経 過

(2 / 8)

●（生涯学習課）具体的に地質を扱う講座という話だが、生涯学習の広い分野とも捉えつつ、郷土資料館学芸員とも協力しながら、今後検討していきたい。

○（委員B）郷土資料館に行くと、レプリカの化石がある。小沢で化石が出るが、反対側の田名もそう。そういう着眼点で、今そういうブームもあるようなので、おもしろいかと思う。

●郷土資料館にあるマンモスは、300～350万年前のステゴドン（ステゴサウルス）の骨の一部が出てきたので、レプリカとして完成させている。確かに小沢から出ていると聞いている。かつては海だったのかと興味をもっている。県が調査をかけ、県の発掘の中で出てきたようだ。冊子もできているらしい。そういう講座がないので、実施していきたい。

○（委員B）相模原市も公民館活動が盛んで、公民館活動で化石を発掘したという話があった。

（3）補助事業について

<事務局から説明>

【質疑なし】

（4）社会教育委員の活動について

各委員より、所属団体の事業等について報告があった。

○（PTA連絡協議会）2月17日に社会教育委員の事例発表に協力いただき、感謝している。

PTAも輪番で発表することが負担。今は役を嫌う方が多い中、皆さんに協力いただいた。ガーディアンズネットに掲載しているが、12月7日に研修視察として山梨県立リニア見学センター、信玄餅工場に行き、見学と体験を通して学ぶとともに、みんなで和気あいあいと交流した。母親委員をガーディアンズに名称変更、女性に限らず男性も務められるようにしている。

2月17日には活動研究大会を4年ぶりに参集で開催した。参加者から社会教育委員の発表に

審 議 経 過

(3 / 8)

よい感想が寄せられた。ただ、大人には伝わったが、小さな子どもには難しかったようだ。会の名称を含め、時代に合わせて、よりよい場をつくっていきたいと話し合っている。愛川町全体で参集していただけるように。子どもが愛川町を好きで、愛川町に住み続けたいと思えることが大事。また、各PTAの活動を冊子にまとめた。工夫を凝らして作成していて、ページが増えてきた。書面で無理なく発表している。冊子を全家庭に配付し、会場にも掲示した。今後、保護者と学校と地域が協働して、愛川町をよりよくしていけるよう、子どもたちを真ん中において、多くの仲間と一緒に活動していきたい。

○（婦人団体連絡協議会）コロナ禍が終わり、おまつりも復活。婦人会もふれあい広場や紅葉まつりなどに参加協力できてよかった。今年度のメインは、11月21日、22日に行われた全国大会。45年ぶりに神奈川が会場になるということで何年も前から準備してきた。盛大にできてよかった。金澤翔子さんとお母様が講演してくださった。以前、愛川町に招き、書をいただいたが、今は講演を依頼したくてもなかなかコンタクトが取れないという。婦人会では、一つずつ年を重ねて高齢化。若い方を誘っても、働きに出ているなど、後継者がなかなかいなくて困っている。一番の問題は、県婦連に入っているのは、相模原、寒川、厚木、海老名、そして愛川町の5団体しかないこと。愛川町もどうしようかと思ったが、踏みとどまった。各地域の特色ある活動があり、残ったからには愛川町も県に対応して一生懸命やろうとがんばる決意ができた。皆さんの力を借りながら活動していく。

○（子ども会連絡協議会）ふれあいレクリエーションが4年ぶりに各校で盛大にできた。前後雨が降ったが、この日は天気がもち、ありがたかった。時間が空きすぎて経験者がいなくて、どの地区も戸惑った。地域の参加も増えているのは社会教育的だと感じている。交流行事で、は

審 議 経 過

(4 / 8)

まぎん子ども宇宙科学館に連れていった。非常に楽しい企画ができた。来年度も継続していきたい。

○（青少年指導員連絡協議会）1月7日午前中は町一周駅伝競走大会に協力し、午後は二十歳のつどいを見守り、たくさんの方を祝うことができた。1月18日に会議を行い、社会教育委員の発表を報告した。1・2月に、こども110番の確認作業を各地区において実施した。青少年指導員がサポートしているジュニアリーダーが、12月に「あいかわこどものまち」を開催。職業体験は、花屋・消防士・ネイリスト・美容師・ラジオDJ・図書館・舞台スタッフの7つ。給料を得て、納税し、買い物をして、最後に、集めた税金で作った「ダム」の開通式を行い、子どもたちの笑顔がたくさん見られた。来年度、さらにバージョンアップしていきたいとジュニアリーダーが張り切っているので、引き続き、サポートしていきたい。ここで青少年指導員は任期の切り替えとなるが、これまでのメンバーが地域人材として支えながら、新メンバーで協力し合い、来年度も子どもたちの活躍の場をしっかりとつくりたいと考えている。

○（スポーツ推進員連絡協議会）9月20日に第2回の委員会を開催し、今後の活動について話し合った。10月に予定していた県央地区の研修会が延期となり、10月14日にスポーツ推進委員の資質を向上するためにニュースポーツ研修会を第1号公園体育館卓球場で実施した。11月23日に県、12月9日に県央ブロックの研修会があり、1月21日には、相模原ブロックから招待を受け、各研修会に参加し、情報交換を行い、各市町村の委員と交流を図った。2月3日には、県スポーツ推進委員大会が開催され、小沢区の木村委員、原白区の小松委員が表彰された。2月17日に、県央ブロックの正副会長の情報交換会を開催した。教育長や県顧問等を招き、36名で有意義な情報交換会を行うことができた。

審 議 経 過

(5 / 8)

○ (地区健全育成組織連絡協議会) 今年度はコロナ前の活気が戻り、各育成団体とも活発な事業報告があがってきている。1月28日に青少年健全育成大会を開催した。前半は、上熊坂区と桜台区の事例発表、後半は「いつでもどこでもできるウェルビーイングのを見つけ方」について、心理カウンセラーの岩淵賢次さんに講演いただいた。毎日を心地よく過ごすためにできることについて、質問を交えながら楽しく講演していただき、今後の活動への意欲が湧いた。今後とも協議会内で情報を共有し、地域によっては役員のなり手不足や少子高齢化などの課題に直面しているところもあるので、知恵を出し合い、協力しながら活動していきたい。また、スポーツ推進委員でニュースポーツのラダーゲッターとボッチャを体験し、早速、育成会の愛川ブロックでも試してみた。初めて体験した方が多く、ボッチャも戦略的で楽しく、パラリンピックを観てみようかと話していた。今後も他地区と協力しながら活動していきたい。

○ (文化協会) 7月、9月の理事会でふるさとまつりに向けた調整を行い、10月21日、22日の両日に文化会館で4年ぶりに文化展・文化芸能発表会を開催できた。21日と22日に、1階のロビーでさつき会、ホワイエで華道協会、展示コーナーでみなかみ短歌会、展示室で写真クラブ、資料室で友好都市立科町の作品、3階の大会議室2・3では神奈川ふだん記の展示、一般作品展示を行った。また、22日には、ホワイエで茶道協会のふるさと茶会、3階の大会議室1で将棋大会を行い、ホールでの文化芸能発表会では、民謡協会、吟詠連盟、マジック愛川クラブ、よさこいダンスチーム Funny、愛川町歌謡協会が発表を行った。その他立科町の御泉水太鼓の演奏やダンサーマジシャン Hitomi さんのマジックを披露していただいた。11月3日から5日に、第51回立科町文化展に神奈川ふだん記が機関誌「やまゆり」の作品出展を行い、友好都市立科町の方々にご覧いただいた。10月のふるさとまつりと11月の立科町文化

審 議 経 過

(6 / 8)

展で4年ぶりに相互での作品展示を行うことができた。今後も継続して、立科町と文化をとおした交流活動を続けていきたい。3月15日には文化協会の広報誌「文化協会だより第13号」を発行。当協会においては、今年度当初の総会で2団体が脱退し、来年度の総会でも2団体が脱退を予定しているなど、会員の高齢化で会員数、加盟団体が減少傾向だが、令和7年度には文化協会創立50周年を迎えるので、来年度は記念事業へ向けた計画立案も含め、会員一同が一致団結を図り、文化協会を盛り上げていきたい。

○(スポーツ協会)5月に4年ぶりとなる対面での総会を開催。10月の県民スポーツ月間には、オリンピックの鶴見虹子さんを招き、体操教室を行い、多くの子どもたちが講師と交流した。また、4年ぶりに賀詞交歓会を開催。第69回愛川町一周駅伝競走大会は今回から実行委員会形式となり、委員長の私を含め、理事長、常任理事の3名が委員となり、スポーツ協会の会員も大会役員として協力し、大会を円滑に運営できた。各種目協会の活動では、町総合体育大会を、陸上、野球、バレーボール、剣道、卓球、ソフトテニス、バドミントン、テニス、ソフトボール、水泳、ゴルフ、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ協会が実施。スポーツ教室を陸上、剣道、ソフトテニス、レクリエーション、テニス、ソフトボール、サッカー、水泳、ゲートボール、ペタンク、ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフ協会が実施。ゴルフ協会、スキー協会が立科町交流事業を実施。3月15日に「スポーツ愛川～健康な光～」を発行した。さらに、今月24日にマラソン伴奏者中田崇志さんを招き、スポーツセミナーを開く。来年度は、隔年開催のスポーツ・レクリエーション・フェスティバルを実行委員会形式で実施する。令和7年度には50周年を迎える。健康の維持・増進のため積極的にスポーツを取り入れ、スポーツができる喜びを満喫していただけるよう、様々な場面で、町のスポーツ振興に貢献して

審 議 経 過

(7 / 8)

いきたい。広報誌に掲載しているが、田代の野球チームが60年前に県で優勝し、パレードを実施した。

○(小中学校校長会) 学校にいろいろな形で協力いただき感謝している。一つは、子どもの数が減っている。本校でいうと来年度20名減り、当然教員の数も減る。いろいろこれまで通りの教育活動ができないところをPTAや地域学校協働活動推進員に手伝っていただいている。体育大会、文化発表会で、受付や保護者の誘導、見守りに協力いただき、教員が子どもにつくことができ、助かっている。多様性の時代で、いろいろな子がいて、1クラスを1人の先生が見るのはなかなか難しい。個別対応が必要な子もいる。今後も様々な面で支援いただきたい。二つめ、愛川町は読書、読み聞かせが盛んでありがたい。読書離れが非常に深刻。全国学力・学習状況調査で、各家庭の蔵書数と子どもの読書量は相関関係があるというが、なかなか本を読む習慣がない。子どもたちが自分で勉強しようと思ったら教科書を読む。そこにアレルギーがあったら進められない。読書・読み聞かせの団体等に協力いただきながら、読書離れを食い止めていきたい。三つめは部活動の地域移行。部活動の維持、安全、大会の役員を考えると、1つの部活に教員を2名つけたいところだが、教員がいない。協力者にサポートいただいて、地域移行が始まれば、今ある部活をなくさずに済むことがありがたい。町全体で協議して、何とか進めていきたい。文化も、スポーツもこれ以上縮小しないでやらせてあげたい。

○(委員C) 昔、母親委員で何かやりたいと始めたのがマザーズネット。1号に関わった。手書きで印刷して、楽しく活動した。それから育成会、青少年指導員、愛子連とやってきた。役をやりたくない人が多く、子ども会の運営も難しいが、知恵をしぼり、全員加入で、学年で役を決め、全員で役割軽減できるよう工夫している。最善かはわからないが、一つの提案として話

審 議 経 過

(8 / 8)

した。次の担い手を見つけ、育てている。

○（委員D）明日、県の理事会がある。午後は令和7年度の関東ブロック神奈川大会の実行委員会。内容は次回報告したい。もう一つ、子どもたちが理解できる事例発表も必要かと思う。また、青少年健全育成関係団体合同懇親会に参加し、部活動の地域移行等、多方面から話を聞いた。社会教育委員の中で、できることは協力していきたい。

○（委員B）青少年指導者養成事業が50年という話があったが、県立愛川ふれあいの村で実施しているのか。

●（生涯学習課）レクスクールは中津公民館や第1号公園などで実施している。

○（委員B）今の愛川ふれあいの村、野外教育センターはできて50年ほど。あのような施設が愛川町にあることも非常に大事。

●（生涯学習課）宿泊棟にエアコン設置等、使いやすくなるようだ。

○（委員E）他市でスコアボードを更新する際、野球だけでなく、多目的に使えるようにしているという。愛川町でも、みんなで楽しめるように施設を考えていきたい。

○（委員A）令和9年度にインターハイが神奈川県にくる。南関東ブロックの開催で、神奈川県で5競技を予定している。平成26年以来13年ぶり。神奈川県で開会式は昭和以来46年ぶりという。スポーツのまち、愛川町にも来るか。

●（スポーツ・文化振興課）先日、県のスポーツ課の担当者が相談に来庁された。今後、話があると思う。

4 閉会

<本多副議長より>

会長(委員長)
署名欄

萩原 庸元

第3回愛川町社会教育委員会議

(敬称略)

選出区分	氏名	備考	出欠
学識経験者	はぎわら のぶもと 萩原 庸元	社会福祉協議会会長	出席
	ほんだ てるみ 本多 照美	主任児童委員 子ども会連絡協議会理事	出席
	かたやま ちかこ 片山 智絵子	元校長 前社会教育委員(小中学校校長会代表)	欠席
学校教育関係者	なかむら しんすけ 中村 慎輔	小中学校校長会代表	出席
家庭教育関係者	とみざわ こうぞう 富沢 公三	P T A連絡協議会代表	出席
社会教育関係者	さいとう みつえ 齋藤 光枝	婦人団体連絡協議会代表	出席
	おおや なおかず 大矢 直和	子ども会連絡協議会代表	出席
	かや たかゆき 茅 孝之	青少年指導員連絡協議会代表	欠席
	やまくち あつし 山口 淳	スポーツ推進委員連絡協議会代表	出席
	こまつ まさる 小松 勝	地区健全育成組織連絡協議会代表	出席
	はら けいすけ 原 啓祐	文化協会代表	出席
	こざの きみお 古座野 君夫	スポーツ協会代表	出席

(令和5年5月1日～令和7年4月30日)